

# 千葉商科大学 プレスリリース

## CUC公開講座 in 丸の内 2017 「アカウントブルな社会・経済への大学の貢献」

第3回

### 米国資本主義の限界と CSR

千葉商科大学（学長：原科幸彦）では、社会貢献活動の一環として、CUC 公開講座を開講しています。

本学は、社会科学系の総合大学として、地域に貢献する教育研究拠点を目指していますが、4つの学長プロジェクト※1を行い、その実現に向けて全学一丸となって取り組んでいます。今年度の講座は、7月から全8回に亘り、学長プロジェクトの紹介を軸に展開します。本学設立の理念である商業道德の涵養を現代に適合させ、アカウントブルな社会・経済の形成に向け、大学の貢献の立場から参加者の皆さんと共に考え議論します。

第3回目は「米国資本主義の限界と CSR（企業の社会的責任）」と題し、学長プロジェクト2「CSR 研究と普及啓発」のチームが担当し、米国資本主義の限界とその解決方向としての CSR について考えます。三橋規宏名誉教授による発題講演では、米国型資本主義は、物的繁栄をもたらした一方、環境破壊、資源枯渇、労働環境の悪化、法令違反、所得格差の拡大、中産階級の没落などを引き起こし、破綻したとの分析から議論を始めます。今後の企業経営は、経済とモラルのバランス回復、企業の公共財化、ステークホルダー経営などが必要であり、CSR が強く求められているとの認識から、新たなビジョンとして「きずな資本主義」を提案します。

討論1「プロジェクト融資における CSR：環境社会配慮の観点から、EP を具体事例に」（吉川克典氏）では、環境社会リスクを評価する金融機関の自主的なガイドラインである EP（赤道/エクエーター原則）を、国内銀行の4行目として昨年2月に採択した三井住友信託銀行が、その経験から、同原則の概要や採択に到った経緯、実際の事例について説明します。そして、討論2「持続可能な経済システムと環境社会配慮」（伊藤宏一教授）では、新たな「持続可能な経済システム」について、サーキュラーエコノミー、シェアリングエコノミーなど最近の理論動向を、「循環」「共有と脱所有」「分散ネットワーク」「SDGs」等をキーワードに、企業事例を紹介しつつ展望します。

講演後、太田三郎商経学部長の司会により、原科幸彦学長を交えて講演者と共に討論を行います。

本講座はどなたでも参加いただけます。どうぞ奮ってご参加ください。

※1 千葉商科大学のサイト <http://www.cuc.ac.jp/>

#### ◆CUC 公開講座 in 丸の内 2017 【第3回目】

【テーマ】「米国資本主義の限界と CSR」

【日 時】2017年9月30日(土) 14:00-16:00(受付 13:30)

【講 師】「米国資本主義の限界と CSR」 三橋規宏 名誉教授（環境経済学）

【討論1】「プロジェクト融資における CSR：環境社会配慮の観点から EP を具体事例に」

吉川克典氏（三井住友信託銀行株式会社 ストラクチャードファイナンス部）

【討論2】「持続可能な経済システムと環境社会配慮」 伊藤宏一 教授（社会金融・金融政策）

【会 場】Galleria 商.Tokyo（丸の内サテライトキャンパス）※公共交通機関をご利用ください。

【受講料】無料 ※どなたでも参加できます。

【定 員】50名(先着順) 【申込締切】9月29日(金)(15:00)

【申込方法】CUC 公開講座 Web ページの申込フォームよりお申し込みください。

【問い合わせ先】千葉商科大学学長PJ事務局 [E-mail] p\_pjt\_admin@cuc.ac.jp



CUC 公開講座 2017

検索

**CUC**  
Chiba University of Commerce

# 千葉商科大学

[www.cuc.ac.jp](http://www.cuc.ac.jp)